



幕末の水戸藩の情勢、水戸徳川家の教育を紹介！ 特別展1「プリンス・トクガワ－新時代への布石」

令和3年の大河ドラマの主人公・渋沢栄一は、戸定邸の主・徳川昭武ゆかりの人物です。昭武の兄・慶喜は江戸幕府最後の将軍となり、昭武と渋沢は幕府の終焉をパリで知らされました。3人は水戸藩9代藩主・徳川斉昭が推進した水戸徳川家独自の学問（水戸学）から大きな影響を受けています。収蔵品や初公開資料など約70点の展示を通じて幕末の水戸藩の情勢、水戸徳川家の教育をご紹介します。

今年は年間を通じて大河ドラマと歩調を合わせ、関連テーマの特別展を開催します。

本展初公開の書「清徳」は尾高惇忠の書です。尾高は渋沢にとって指導者的存在であり、義兄（妻の兄）としても近い間柄でした。明治期には初代富岡製糸場長を務めた後、渋沢の事業に参画するなど、生涯にわたり渋沢と深い繋がりがありました。

◆会期 令和3年2月6日（土）～6月13日（日）※会期は変更になる場合あり

◆会場 戸定歴史館展示室

◆費用 戸定歴史館入館料 一般150円（共通入館券一般は320円）
高校・大学生100円（共通入館券高大生は160円）
※中学生以下無料

◆展覧会概要（構成案） ※展示品は例として挙げています。

➤ 第1章 慶喜と昭武 一日本を背負った兄弟

… 慶喜と昭武のプロフィールとともに水戸徳川家についての基本情報や、歴代当主に関する資料を紹介する。

展示品：徳川光圀贈位宣明文写、「哀公様御筆」、斉昭肖像画写真 等

➤ 第2章 水戸学 父・斉昭の教育 一学問が時代を動かす

… 斉昭の尊攘思想や当時注力していた水戸藩の政策について、文字資料や絵図で示す。書簡などから兄弟へ向けた愛情についても考察する。

展示品：松平昭訓書、「弘道館記拓本」、水戸藩藩船図 等

➤ 第3章 慶喜の将軍就任と改革 一渋沢栄一登場 一

… 慶喜・昭武兄弟を接近させた契機である禁門の変について、また、慶喜周辺の情勢と渋沢栄一に影響を与えた尾高惇忠について紹介する。

展示品：尾高惇忠書「清徳」（★初公開）、徳川慶喜写真 等

➤ 第4章 いざ、万国博覧会へ

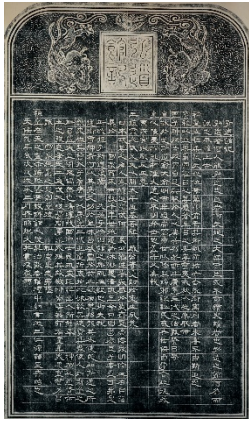
… 1867年パリ万博参加までの経緯や、1862年ロンドン万博などの事例を紹介しながら万博の歴史や担った役割について概説する。

展示品：ロッシュ書簡翻訳、ジ・イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 等



◆展示予定数：約 70 点

◆展示品（抜粋）



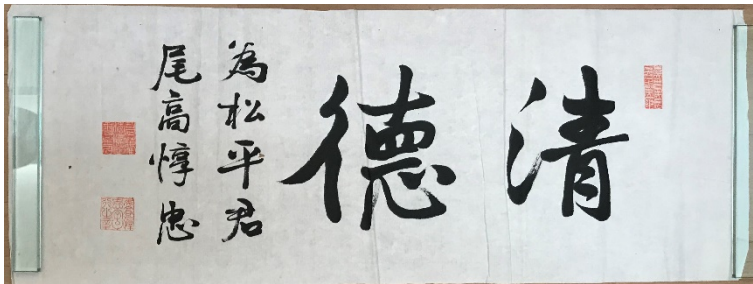
「弘道館記拓本」



徳川齊昭書「広文武忠孝可正礼儀事」



松平昭訓書「至誠無息」



尾高惇忠書「清徳」★初公開

◆写真（収蔵資料より抜粋）



徳川慶喜写真 1866-67 年頃
（フランスから贈られた軍服姿）



徳川齊昭肖像画写真
鈴木真一撮影



徳川昭武写真 1866 年

【問い合わせ先】

生涯学習部戸定歴史館 ☎047-361-0056